

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公開番号】特開 2005-46394 (P2005-46394A)
 【公開日】平成 17 年 2 月 24 日 (2005.2.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-008
 【出願番号】特願 2003-282266 (P2003-282266)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)
A 6 1 B 6/03 (2006.01)
G 0 1 R 33/54 (2006.01)
G 0 1 R 33/32 (2006.01)
G 0 1 R 33/30 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 7 6
 A 6 1 B 6/03 3 6 0 H
 A 6 1 B 5/05 3 8 0
 G 0 1 N 24/02 5 3 0 Y
 G 0 1 N 24/02 5 2 0 Y
 A 6 1 B 5/05 3 7 4
 G 0 1 N 24/02 5 1 0 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 6 月 21 日 (2006.6.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

医用画像撮像装置から送られる画像データを保存する記憶部と、前記画像データの画像処理を行う画像処理部と、前記画像処理部によって形成された画像を表示する表示部と、画像処理部に必要な指令を入力するための入力手段とを備えた医用画像表示装置であって、

前記画像処理部は、前記記憶部に保存された 3 次元画像データを所定の回転軸を中心とする複数の投影方向に投影し、複数の投影像を作成する投影処理手段と、前記入力手段から入力される回転軸指定を受け、指定された回転軸を投影像作成の回転軸とするように画像データの座標を変換する座標変換手段を備えたことを特徴とする医用画像表示装置。

【請求項 2】

前記画像表示部は、3 次元画像データから得た被検体画像と回転軸を表すマークとを重ねて表示し、入力手段の操作により被検体画像に対する前記マークの相対位置を移動可能に表示することを特徴とする請求項 1 記載の医用画像表示装置。

【請求項 3】

前記座標変換手段は、前記入力手段の操作による前記マークと前記被検体画像との相対位置の変化を入力し、この変化量を用いて前記画像データの座標を座標変換することを特徴とする請求項 2 記載の医用画像表示装置。